

# 読むこと①

第4学年

「対比」「まとめ」など段落相互の関係を考え、筆者の工夫に気付き、自分の経験や知識と関連付けて読んだり交流したりし、読みを深め広げること

## つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

段落相互の関係を考えたり、叙述を自分の経験や知識と関係付けて主体的に読み深めたりできない。

T：アップとルーズのどちらでテレビを見たいですか？  
C：ルーズで見たいです。広い範囲で見えるからです。

叙述から根拠を探すことはできるが、本文にある言葉でしか伝えることができず、自分の経験と結び付けた理由を伝えて説明することができにくい。(抽象的な文中の表現を、具体的な自分の言葉で説明することが難しく、読みが浅い)

## 実践の概要

単元名

段落どうしの関係をとらえ、説明の仕方について考えよう

『アップとルーズで伝える』光村図書

目標 登場人物の行動や会話から、人物の人柄や気持ちをとらえて読み、心に残ったことを自分の言葉でまとめてポスターに書き入れ、伝え合うことができる。

内容 ・場面ごとに登場人物の人柄や気持ちをとらえ、ワークシートに書いて交流する。  
・一番心に残ったことを、ポスターに表す。

## 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	自分の感じたことを、朗読で表現しよう	作者の思いを読み取るだけになって、自分の経験や思いを関連付けて、読みを深めることができない。
第5学年	説明の仕方の工夫を見つけ、話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文をもとに文章の構成・構造をとらえられない。</li> <li>自分の考えを述べるときに、自分の知識や経験と結び付けながら説明することができない。</li> </ul>
第4学年	段落どうしの関係をとらえ、説明の仕方について考えよう	段落相互の関係を考えたり、叙述を自分の経験や知識と関係付けて主体的に読み深めたりできない。
第3学年	心にのこったことを、自分の言葉で表そう	伝えたいことを条件に合わせて、まとめて書くことができない。
第2学年	知っていることとつなげて読もう	長文になると、「問い」に対する「答え」の部分が的確に見分けられない。
第1学年	おはなしのおみせやさんごっこをしよう	自分の経験と結び付けて想像豊かに読み、自分の考えをまとめたり広げたりできない。

## 単元末の目指す姿

- ・叙述に根拠を求めながら自分の知識や経験と結び付けて理由を言うことができる。
- ・叙述の言葉をより具体化することができる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

自分の立場を明確にして、その立場を選んだ理由をワークシートに書き、交流する活動を行う。

活動のねらい ▶ キーワードを抽出し、それを根拠に自分の言葉で意見交流できる。

ここがポイント

それぞれの立場を選んだ理由を交流することによって、それぞれの具体的な特徴をとらえることができる。出てきた意見を分類しながら板書し、視覚的にとらえやすいようにまとめることで、「対比」に気付くことができる。

授業の様子



私はルーズ派。広い範囲が見えるから。

例えば、背景。どんな場所で行っているか。お客さんはどれくらい知りたい。

広い範囲って？例えば、どんな場面が見たいの？

(期待される児童の姿)

自分の考えを述べることで、経験の中での映像が思い出され、教材文の中だけで終わるのでなく、教材文と自分の経験とを結び付けて読むことができる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

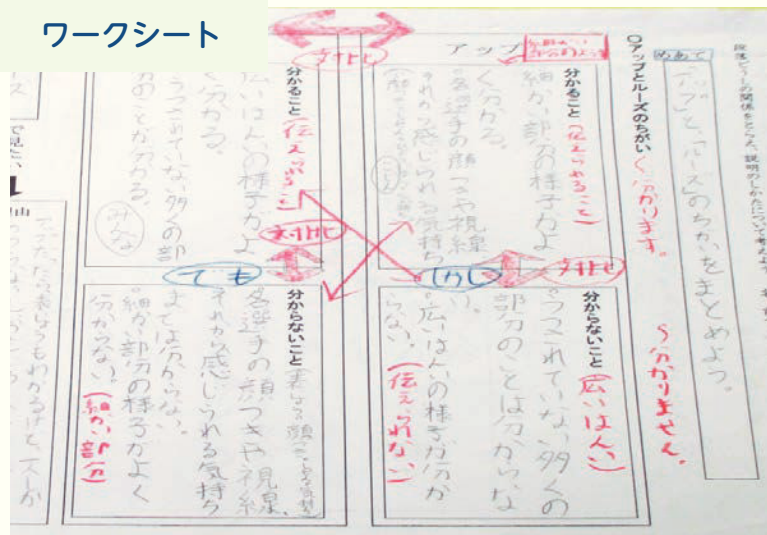
それぞれの立場について、伝えること・伝わらないことを整理して振り返る活動を行う。

活動のねらい ▶ 筆者の説明の工夫に気付くことができる。

ここがポイント

ワークシートを用いて、それぞれの立場からわかること、わからないことを整理し、それをもとに、筆者が何を伝えたいために、どのような例を示しているのかを考える。

ワークシート



(期待される児童の姿)

ワークシートを活用し、本文からアップとルーズの特徴という情報を取り出し、さらに理由を考えることで、本文の意味を解釈することができる。さらに、内容を把握するだけにとどまらず、わかりやすく伝えようとする筆者の意図に気付かせることができる。